



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)



2023年1月31日

上場会社名 中国塗料株式会社

上場取引所

東

コード番号 4617 URL <https://www.cmp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊達 健士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長

(氏名) 小林 克徳

TEL 03-3506-3951

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	70,981	14.2	1,678	94.5	2,790	104.4	2,076	350.8
2022年3月期第3四半期	62,143	1.4	862	83.6	1,365	74.3	460	86.5

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 6,332百万円 (215.4%) 2022年3月期第3四半期 2,007百万円 (59.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	41.23	
2022年3月期第3四半期	8.74	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	116,581	63,005	49.7	1,169.45
2022年3月期	104,618	60,039	52.9	1,089.33

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 57,944百万円 2022年3月期 55,291百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		17.00		18.00	35.00
2023年3月期		17.00			
2023年3月期(予想)				18.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,000	16.3	3,800	452.5	4,300	324.7	3,000		59.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	55,000,000 株	2022年3月期	62,000,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	5,451,693 株	2022年3月期	11,242,693 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	50,376,527 株	2022年3月期3Q	52,683,505 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
3. 補足情報	10
販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループ経営成績としましては、主力の船舶用塗料分野において、新造船向けでは、主に国内において出荷量が増加したことや、原材料価格高騰を受けて販売価格の見直しを行ったこと等により、全体として売上高が増加しました。修繕船向けにおいても、一定の需要が継続する中、販売価格の見直しや積極的な営業活動を推進したことから、国内や欧州を中心に堅調に推移しました。工業用塗料分野では、東南アジアにおける重防食塗料が堅調に推移したこと等により、売上高が増加しました。コンテナ用塗料分野では、価格競争の激化により低採算案件の受注抑制を行ったことから、販売が落ち込みました。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は70,981百万円（前年同期比14.2%増）となりました。利益面については、第1四半期においては原材料価格高騰に伴う調達コスト増により営業利益以下の各利益項目で損失を計上しておりましたが、第2四半期以降、販売価格の見直しが進んだこと等から採算が改善し、利益計上かつ増益に転じました。その結果、営業利益1,678百万円（同94.5%増）、経常利益2,790百万円（同104.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,076百万円（同350.8%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① 日本

船舶用塗料において、新造船向けの需要の回復に加え、原材料価格高騰を受けて新造船及び修繕船向けの販売価格の見直しを行ったこと等により、売上高が増加した他、工業用塗料においても、主に重防食用塗料の販売が堅調に推移したことから、売上高は27,618百万円（前年同期比19.4%増）となりました。一方、損益面では、販売価格の見直しを行ったものの主要原材料価格の高騰や円安となった為替影響による調達コストの上昇をカバーすることができず、セグメント損失は584百万円（前年同期はセグメント損失637百万円）となりました。

② 中国

船舶用塗料において、新造船及び修繕船向けともに、原材料価格高騰を受けて販売価格の見直しを行ったことや、円安となった為替の影響も加わり、売上高が増加したものの、工業用塗料においては、需要が低調に推移し、コンテナ用塗料においても、価格競争の激化により低採算案件の受注抑制を行ったことから、販売が落ち込み、売上高は11,152百万円（同12.5%減）となりました。一方、損益面では、主要原材料価格の高騰による調達コストの上昇から、セグメント損失は542百万円（前年同期はセグメント損失353百万円）となりました。

③ 韓国

船舶用塗料において、造船所における工程遅延の発生により、主力の新造船向けの販売が低調に推移したことから、売上高は5,078百万円（同9.1%減）となりました。一方、損益面では、主要原材料価格の高騰により調達コストが上昇したものの、販売価格の見直しを行ったことから、セグメント損失は252百万円（前年同期はセグメント損失461百万円）となりました。

④ 東南アジア

修繕船向けを中心とした船舶用塗料や重防食塗料において、原材料価格高騰を受けて販売価格の見直しを行ったことや、円安となった為替の影響も加わり、売上高は10,888百万円（同27.6%増）となりました。一方、損益面では、販売価格の見直し等により、セグメント利益は前年同期に比べ361百万円増益の1,547百万円（同30.5%増）となりました。

⑤ 欧州・米国

船舶用塗料において、堅調な需要が継続する中、原材料価格高騰を受けて販売価格の見直しを行ったことに加え、高付加価値製品の拡販に注力したことや円安となった為替影響もあり、主に修繕船向けの販売が伸長し、売上高は16,243百万円（同33.7%増）となりました。一方、損益面では、販売価格の見直し等により、セグメント利益は前年同期に比べ222百万円増益の505百万円（同78.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べ、12,902百万円増加の84,398百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加（5,138百万円）や商品及び製品の増加（3,791百万円）であります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ、939百万円減少の32,183百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の減少（2,071百万円）や有形固定資産の増加（1,156百万円）であります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ11,962百万円増加し、116,581百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べ、10,853百万円増加の45,547百万円となりました。主な要因は、短期借入金の増加(5,599百万円)や支払手形及び買掛金の増加(2,006百万円)であります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ、1,856百万円減少の8,028百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少(1,734百万円)であります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ8,997百万円増加し、53,576百万円となりました。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ、2,965百万円増加の63,005百万円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定の増加(4,713百万円)や自己株式の取得による減少(1,226百万円)、その他有価証券評価差額金の減少(1,150百万円)であります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の52.9%から49.7%となりました。

なお、自己株式の消却により、資本剰余金の残高が負の値となったため、資本剰余金を零とし、当該負の値を利益剰余金から減額しております。

(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は17,529百万円と前連結会計年度末に比べ380百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって使用されたキャッシュ・フローは、3,533百万円となりました。主な増加は、税金等調整前四半期純利益3,456百万円、仕入債務の増減額2,052百万円であり、主な減少は、棚卸資産の増減額4,817百万円、売上債権の増減額3,865百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって得られたキャッシュ・フローは、640百万円となりました。主な増加は、定期預金の払戻による収入3,712百万円であり、主な減少は、定期預金の預入による支出3,213百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって得られたキャッシュ・フローは、1,000百万円となりました。主な増加は、短期借入金の純増額4,537百万円、主な減少は、非支配株主への支払いを含めた配当金の支払額2,170百万円、自己株式の取得による支出1,226百万円です。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,096	20,314
受取手形及び売掛金	27,104	32,243
電子記録債権	1,771	2,721
商品及び製品	11,075	14,867
仕掛品	599	624
原材料及び貯蔵品	8,930	11,970
その他	2,408	2,209
貸倒引当金	△492	△552
流動資産合計	71,495	84,398
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,066	5,144
機械装置及び運搬具（純額）	3,312	3,476
土地	13,068	13,132
その他（純額）	2,606	3,458
有形固定資産合計	24,054	25,211
無形固定資産	359	322
投資その他の資産		
投資有価証券	7,731	5,660
退職給付に係る資産	178	140
繰延税金資産	334	384
その他	1,803	1,960
貸倒引当金	△1,339	△1,496
投資その他の資産合計	8,708	6,649
固定資産合計	33,123	32,183
資産合計	104,618	116,581

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,333	12,340
電子記録債務	1,393	2,243
短期借入金	16,995	22,594
1年内返済予定の長期借入金	2	1,700
未払金	2,242	2,554
未払法人税等	415	626
賞与引当金	102	319
製品保証引当金	165	152
その他	3,043	3,018
流動負債合計	34,694	45,547
固定負債		
長期借入金	2,734	1,000
長期未払金	89	78
繰延税金負債	2,007	1,638
再評価に係る繰延税金負債	2,223	2,223
退職給付に係る負債	1,850	2,046
その他	978	1,042
固定負債合計	9,884	8,028
負債合計	44,578	53,576
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,626	11,626
資本剰余金	1,504	-
利益剰余金	44,244	39,764
自己株式	△10,006	△4,921
株主資本合計	47,367	46,468
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,123	1,972
土地再評価差額金	3,798	3,798
為替換算調整勘定	932	5,646
退職給付に係る調整累計額	68	58
その他の包括利益累計額合計	7,923	11,475
非支配株主持分	4,748	5,060
純資産合計	60,039	63,005
負債純資産合計	104,618	116,581

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	62,143	70,981
売上原価	47,046	54,080
売上総利益	15,097	16,901
販売費及び一般管理費	14,234	15,222
営業利益	862	1,678
営業外収益		
受取利息	62	75
受取配当金	185	344
受取ロイヤリティー	60	103
技術指導料	36	43
為替差益	198	685
その他	311	257
営業外収益合計	855	1,509
営業外費用		
支払利息	264	306
その他	87	89
営業外費用合計	352	396
経常利益	1,365	2,790
特別利益		
固定資産売却益	1	3
投資有価証券売却益	277	887
会員権売却益	-	0
特別利益合計	279	891
特別損失		
固定資産売却損	-	2
新型コロナウイルス感染症関連損失	-	223
特別損失合計	-	226
税金等調整前四半期純利益	1,645	3,456
法人税、住民税及び事業税	600	1,010
法人税等調整額	370	136
法人税等合計	970	1,146
四半期純利益	674	2,309
非支配株主に帰属する四半期純利益	213	232
親会社株主に帰属する四半期純利益	460	2,076

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	674	2,309
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	△1,150
為替換算調整勘定	1,395	5,184
退職給付に係る調整額	△76	△10
その他の包括利益合計	1,333	4,022
四半期包括利益	2,007	6,332
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,954	5,629
非支配株主に係る四半期包括利益	53	702

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,645	3,456
減価償却費	1,550	1,208
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△394	1
その他の引当金の増減額 (△は減少)	108	179
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	11	41
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	76	20
受取利息及び受取配当金	△247	△420
支払利息	264	306
為替差損益 (△は益)	△80	△68
投資有価証券売却損益 (△は益)	△277	△887
固定資産除売却損益 (△は益)	5	6
売上債権の増減額 (△は増加)	1,941	△3,865
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,968	△4,817
未払又は未収消費税等の増減額	△470	△217
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,411	2,052
その他	△858	△124
小計	1,717	△3,127
利息及び配当金の受取額	248	418
利息の支払額	△263	△303
法人税等の支払額	△1,472	△521
営業活動によるキャッシュ・フロー	230	△3,533
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,905	△3,213
定期預金の払戻による収入	3,597	3,712
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	15	13
固定資産の取得による支出	△723	△1,126
固定資産の売却による収入	7	4
投資有価証券の取得による支出	△19	△27
投資有価証券の売却による収入	383	1,288
その他	12	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△632	640
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,302	4,537
長期借入れによる収入	700	-
長期借入金の返済による支出	△707	△2
自己株式の売却による収入	-	22
自己株式の取得による支出	△3,096	△1,226
配当金の支払額	△1,811	△1,768
非支配株主への配当金の支払額	△384	△402
その他	△155	△158
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,153	1,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,092	2,272
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,463	380
現金及び現金同等物の期首残高	21,920	17,148
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,456	17,529

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年5月11日開催及び2022年10月31日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,232,000株の取得を行っております。また、2022年10月31日の取締役会決議に基づき、2022年11月22日付で自己株式2,000,000株を消却し、加えて2022年12月2日開催の取締役会決議に基づき、2022年12月14日付で自己株式5,000,000株を消却しました。なお、自己株式の消却により、その他資本剰余金の残高が負の値となったため、その他資本剰余金を零とし、当該負の値を利益剰余金から減額しております。

主にこれらの影響により、当第3四半期連結会計期間末において、利益剰余金は4,479百万円減少し39,764百万円、自己株式は5,084百万円減少し、4,921百万円となっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	中国	韓国	東南アジア	欧州・米国	合計
売上高						
外部顧客への売上高	23,136	12,739	5,587	8,531	12,148	62,143
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,828	5,900	2,078	2,547	635	13,990
計	25,964	18,640	7,666	11,079	12,783	76,134
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△637	△353	△461	1,185	282	16

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント合計	16
セグメント間取引消去	1,658
全社費用(注)	△812
四半期連結損益計算書の営業利益	862

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	中国	韓国	東南アジア	欧州・米国	合計
売上高						
外部顧客への売上高	27,618	11,152	5,078	10,888	16,243	70,981
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,443	4,157	3,223	4,098	875	16,798
計	32,062	15,310	8,301	14,986	17,119	87,780
セグメント利益又はセグメ ント損失(△)	△584	△542	△252	1,547	505	674

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント合計	674
セグメント間取引消去	1,815
全社費用(注)	△812
四半期連結損益計算書の営業利益	1,678

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 補足情報

販売実績

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	中国	韓国	東南 アジア	欧州 ・ 米国	計
船舶用塗料	18,566	7,895	5,444	4,970	11,773	48,650
工業用塗料	4,325	961	143	3,275	269	8,974
コンテナ用塗料	—	3,882	—	286	105	4,274
その他	244	—	—	—	—	244
計	23,136	12,739	5,587	8,531	12,148	62,143

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	中国	韓国	東南 アジア	欧州 ・ 米国	計
船舶用塗料	22,989	9,601	4,894	6,248	15,828	59,562
工業用塗料	4,371	831	183	3,840	304	9,531
コンテナ用塗料	—	720	—	799	110	1,630
その他	257	—	—	—	—	257
計	27,618	11,152	5,078	10,888	16,243	70,981